
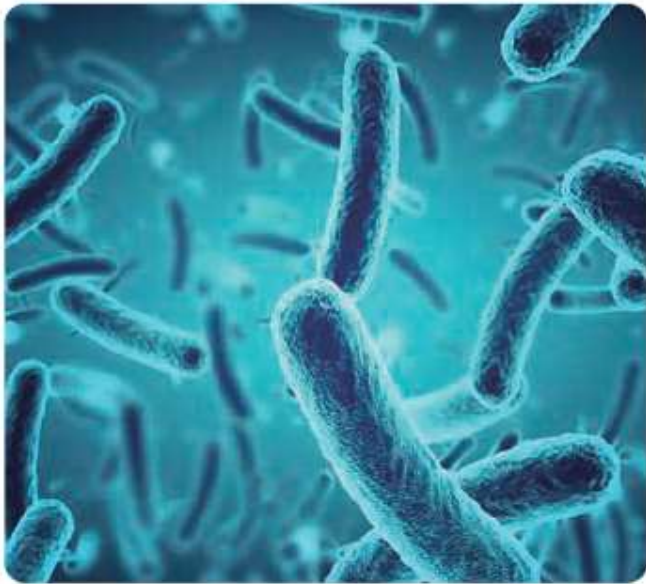


抗ウイルス商品説明資料

シンコール株式会社

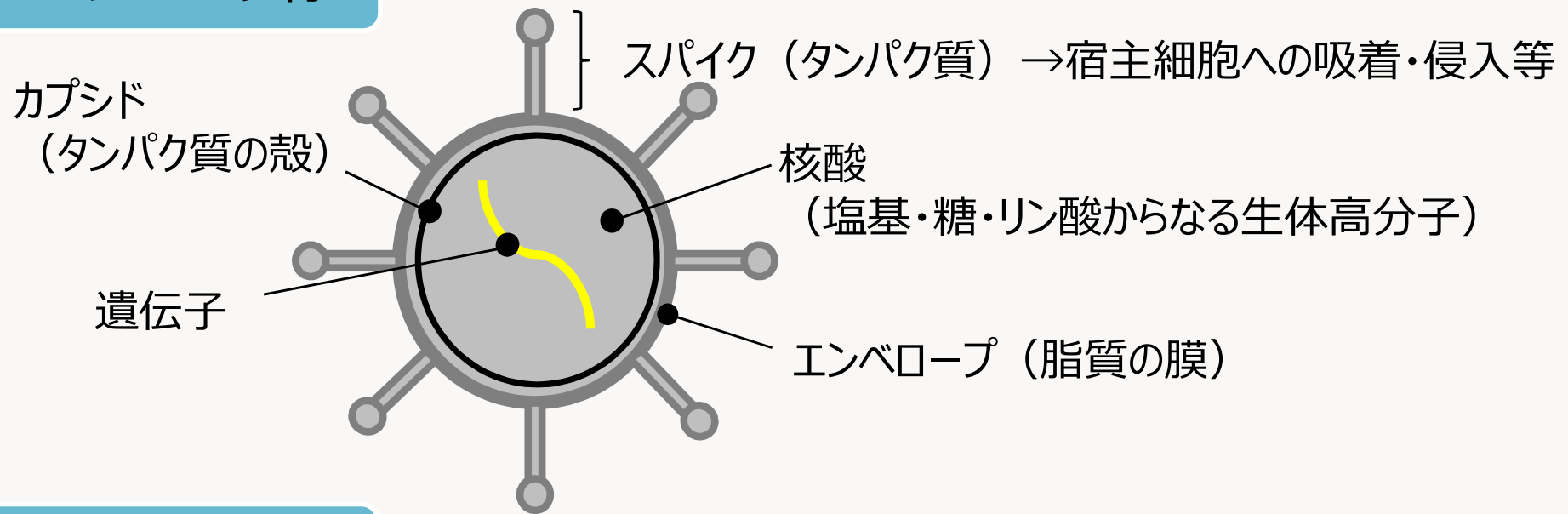
ウイルスと細菌の違い

感染症を引き起こすウイルスと細菌はまったく異なる病原体です。その違いを理解していないと誤った対策を施してしまうなど、十分な安心が確保できません。違いをよく理解して、ウイルスと細菌、両方の脅威に備える必要があります。

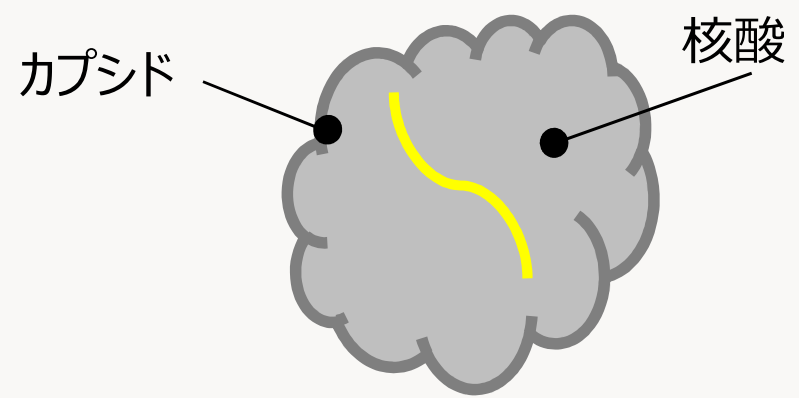
	ウイルス	細菌
増殖方法	生物の細胞に寄生し増殖 単体では増殖できない	自己で分裂増殖
大きさ	およそ0.02~0.3 μ m(細菌の1/2~1/100)	およそ0.5~3 μ m
治療薬	非常に少ない	あり
病原体例	ノロウイルス、インフルエンザウイルス など	大腸菌(O-157)、ブドウ球菌 など
イメージ		

ウイルスの構造図

●エンベロープ有

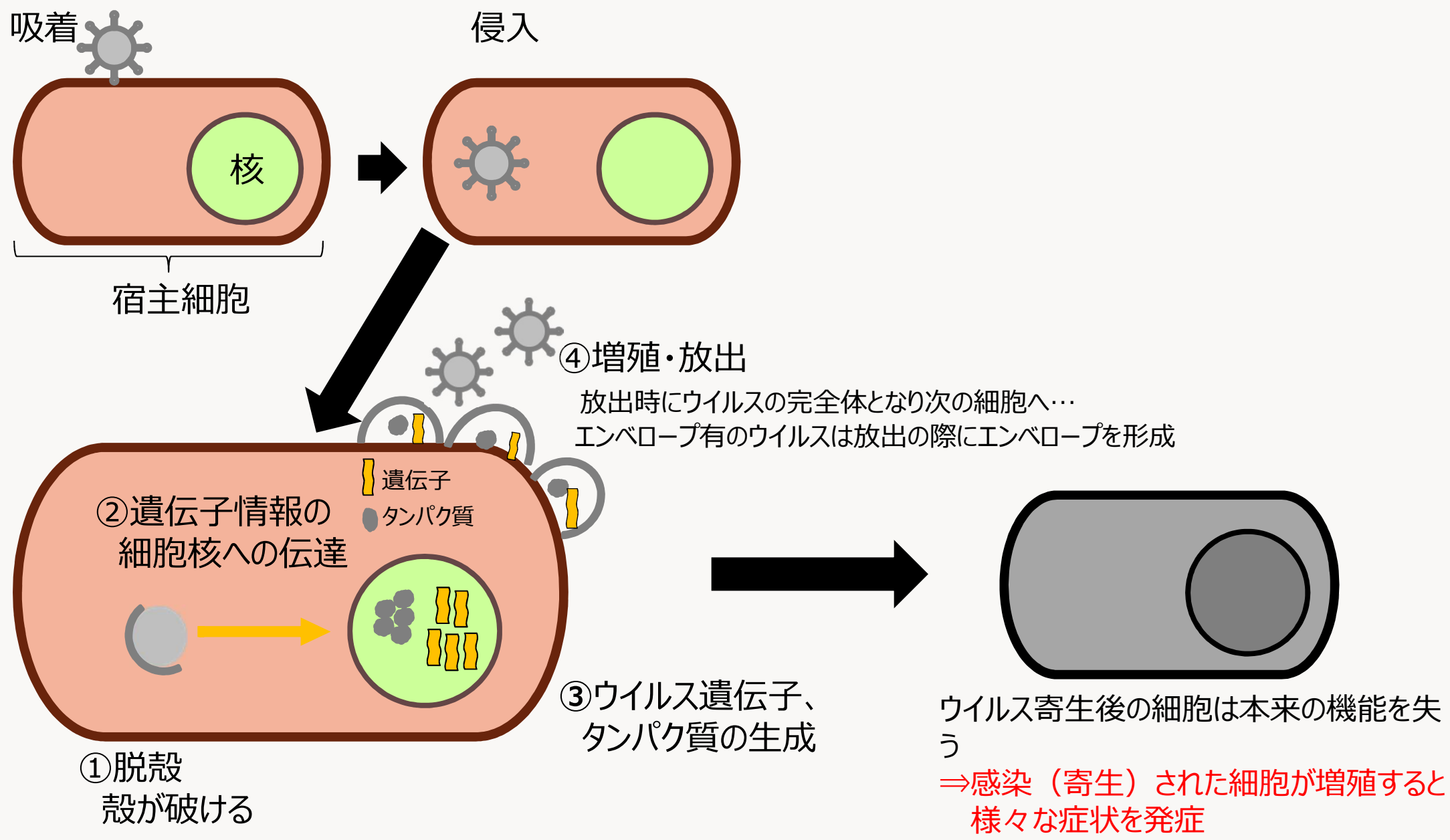


●エンベロープ無

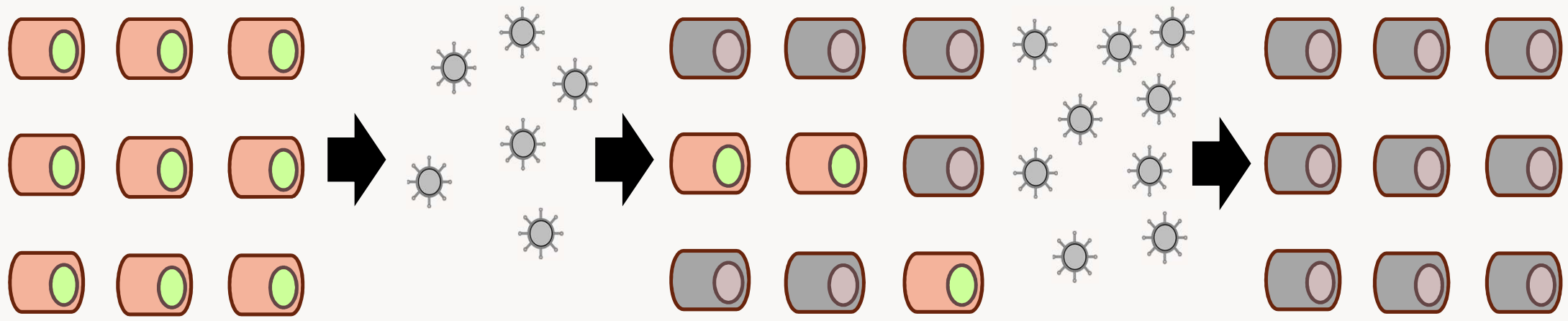


代表的な病名、ウイルスの例	
エンベロープ有	インフルエンザ、風疹、SARS 帯状疱疹、天然痘、B型肝炎、日本脳炎
エンベロープ無	ノロウイルス、手足口病、プール熱、リンゴ病 風邪、ポリオ

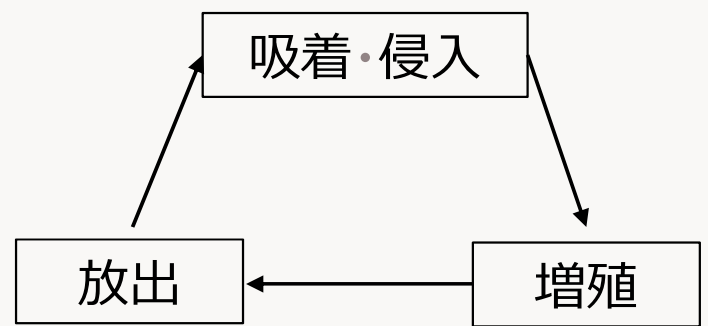
(一般的な) ウイルスの感染メカニズム



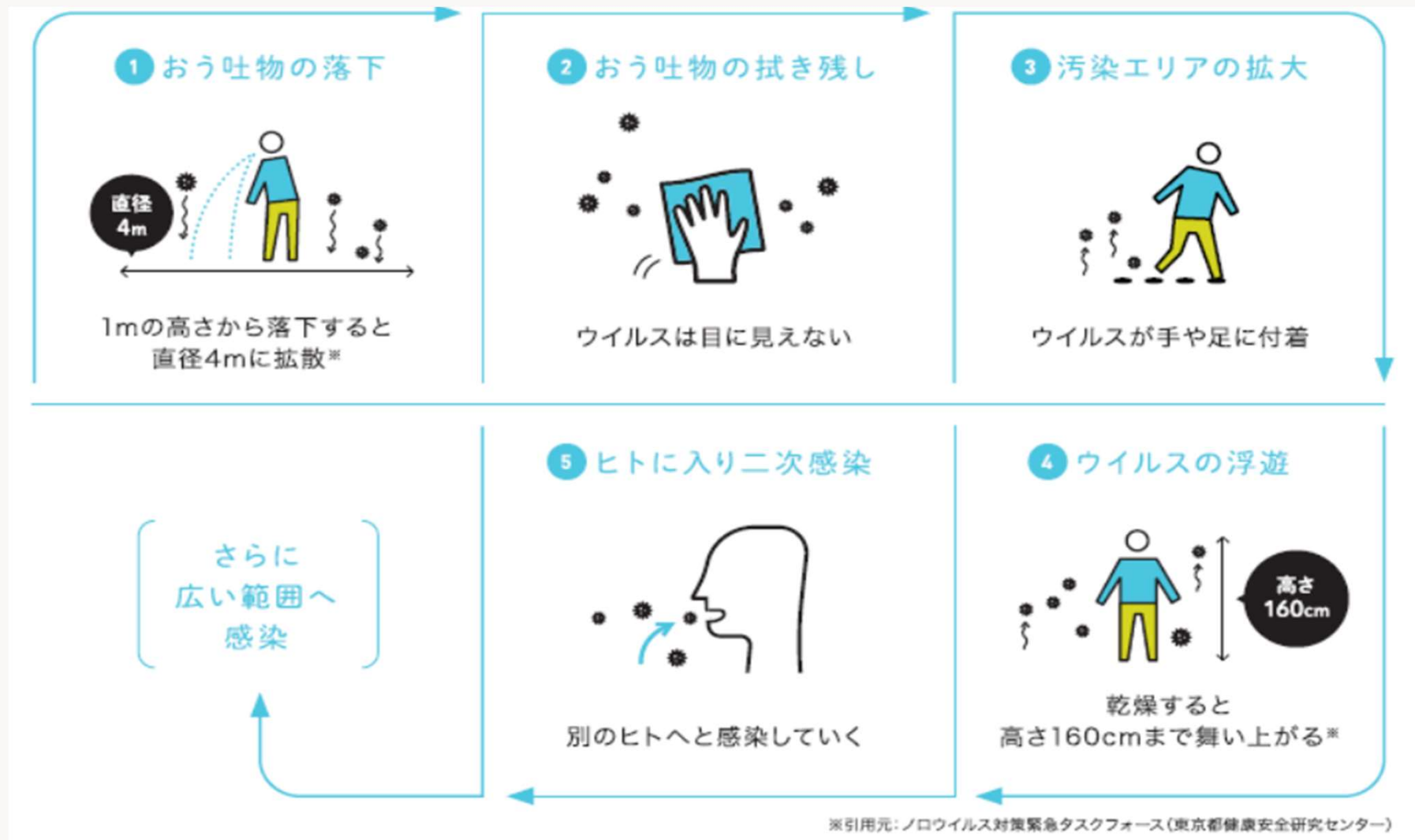
(一般的な) ウイルスの感染メカニズム



増殖サイクルを繰り返す**感染細胞が増加**、ウイルスも増殖を繰り返していく ⇒**症状の発生・悪化**

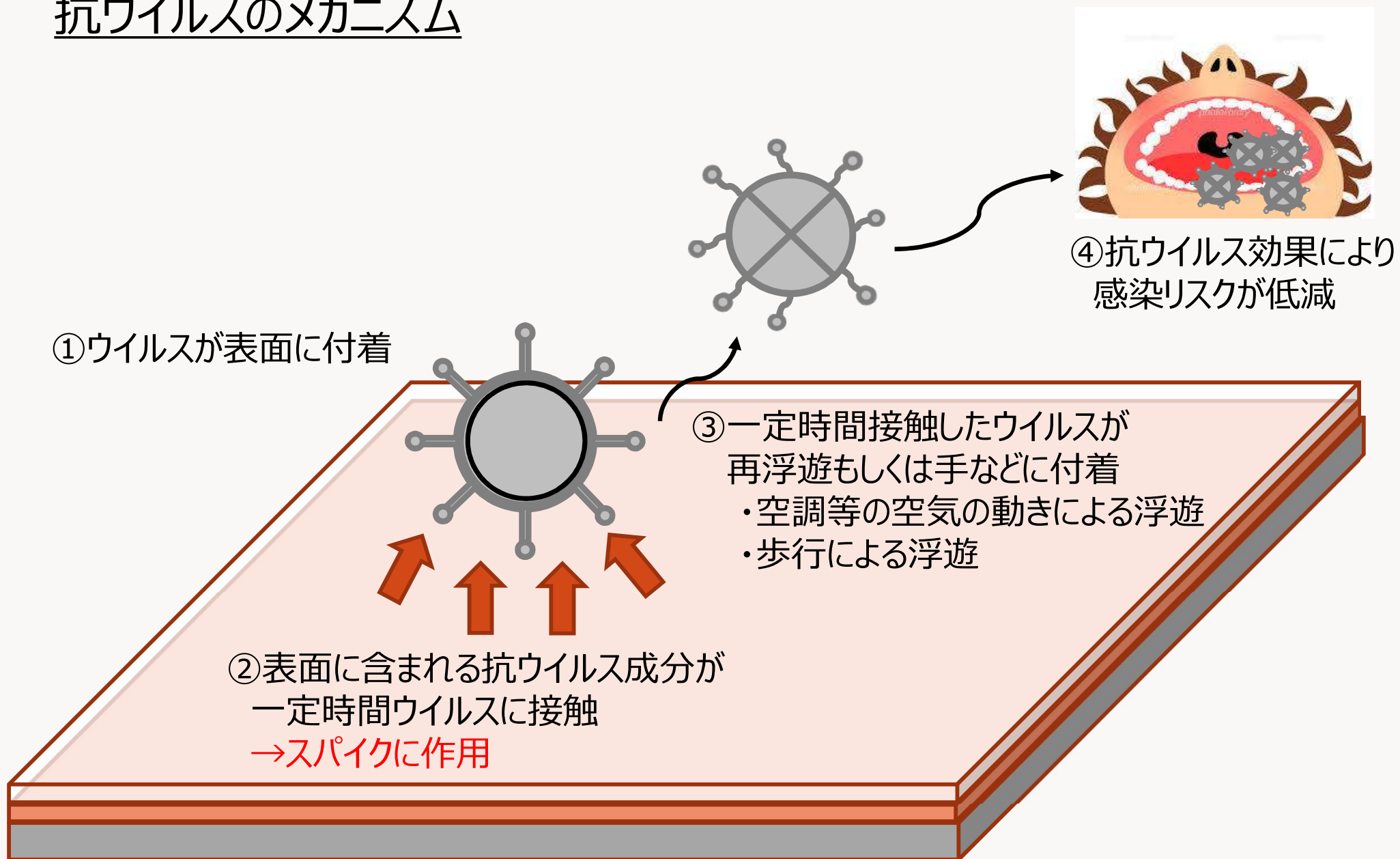


ウイルスの感染拡大経路



床面 (+壁面) で期待される効果→【補助的に】感染拡大の防止
※拡大防止には消毒液でしっかり拭取る、除去することが前提

抗ウイルスのメカニズム

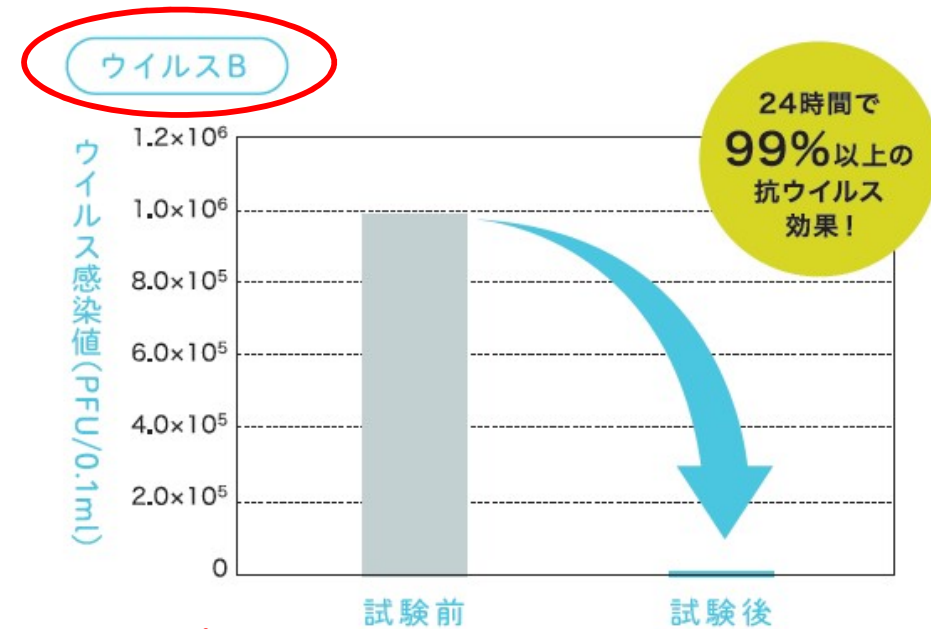


抗ウイルス機能の効果

代表的なウイルス2種類(代替ウイルス1種類を含む)について、2つの試験機関でそれぞれ一つずつ抗ウイルス効果の検証を行いました。ウイルスAでは1時間後に、ウイルスBでは24時間後にそれぞれ99%以上の抗ウイルス効果を得られることが確認できました。



エンベロープ有



エンベロープ無

試験機関: 鳥取大学農学部附属 鳥由来人獣共通感染症疫学研究センター

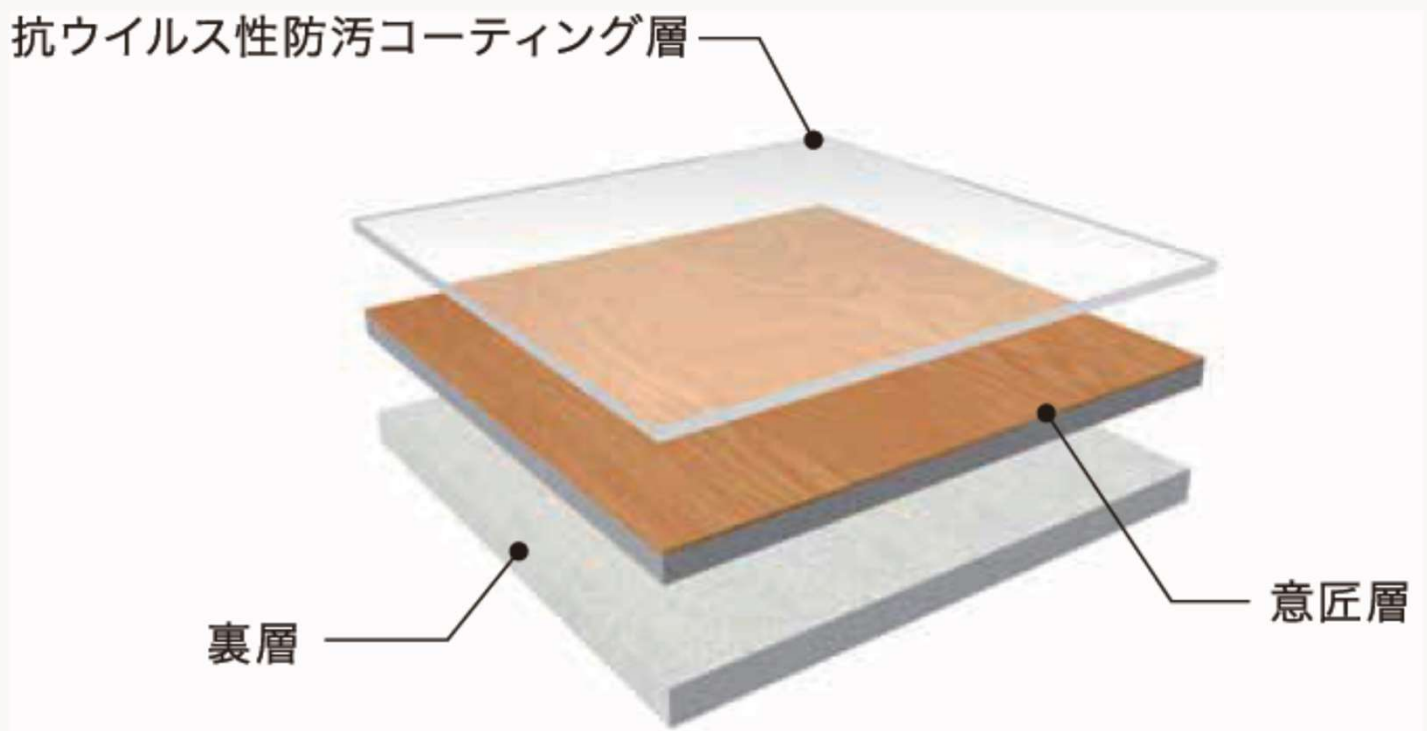
試験機関: バイオメディカルサイエンス研究会

本検証は試験機関でのウイルス感染値の指標であり、使用条件や使用方法により、効果が異なる場合があります。本製品は、医薬品や医療などを目的としたものではありません。また、人体に影響を及ぼす可能性のある代表的なウイルスで性能を確認しており、他のウイルスに対しても効果が期待できますが、感染症対策およびすべてのウイルスに効果を保証するものではありません。抗ウイルス剤は、所定の条件において食品包装材に使用が認められている材料です。

抗ウイルス機能の安全性

抗ウイルス剤は、
石鹼や、化粧水等、多くの日用品に使用されている所定の条件において
食品包装材に使用が認められている**安全な材料**です。

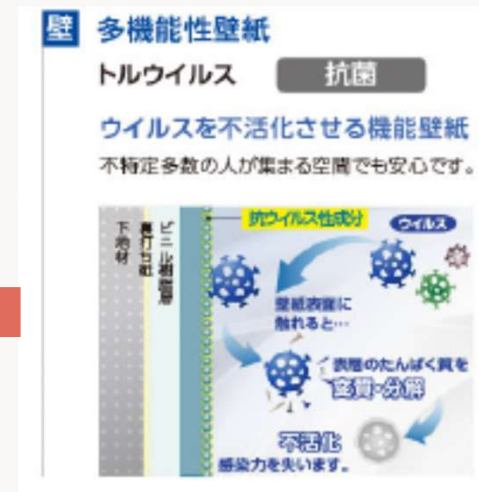
抗ウイルス機能シートの構造図・耐久年数



- プレーン/マーブルノンワックス …約30年
- タフベーシックプラス …約30年
- タフクリアー …約30年
- タフレイドプラス …約80年
- タフフォーム …約30年

$$\frac{\text{抗ウイルス耐久年数}}{\text{ノンワックス耐久年数}}$$

抗ウイルス品の提案イメージ



シンコールは壁紙と床シートで
ウイルス対策が可能